

Fellowship(フェロウシップ) 第90号

【NPOロースクール奨学金ちゅうぶニュース】

NPO 法人ロースクール奨学金ちゅうぶ 会員の皆様

NPO 法人事務局です。いつもお世話になっております。

日頃は、当 NPO 法人の活動にご協力を賜り誠に有難うございます。

法人の現況をお知らせする Fellowship 第90号をお送りします。

【フェロウシップとは「奨学金」のこと。Fellow（仲間・同輩）を応援する気持ちを表しています。】

第19期奨学生・河井沙織さんの司法試験合格祝賀会を開催しました

第19期奨学生の河井沙織さんが令和5年司法試験に合格し、1月9日、名鉄百貨店バンケットルームにて祝賀会を開催しました。河井さんは名古屋大学法科大学院既修コース2年在学中で、今年度から新設された在学中受験資格を得て見事合格されました。

祝賀会には、賛助会員として田中清隆弁護士、平井宏和弁護士、加賀山瞭弁護士、元奨学生として杉原浩介弁護士（第3期）、原春加弁護士（第5期）、広村春菜弁護士（第6期）、坂典子弁護士（第8期）、石原知弁護士（第10期）が駆けつけてくださり、当NPO法人理事からは那須國宏理事長、細井土夫理事及び榎本修専務理事が参加しました。

田中弁護士が乾杯の音頭をとり、祝宴が賑やかに始まりました。ご参加の皆様からひと言ずつお祝いとお励ましの言葉をいただきながら進行していきます。

最初に、東京から参加してくださった加賀山弁護士（日弁連公設事務所・法律相談センター委員）から、「弁護士ゼロワン地域は解消しつつあるように見えるが、弁護士の都市集中はますます進んでいて、公設事務所任期終了後の後任が見つからない事態が多くなっている。今後、『弁護士過疎地』『弁護士ゼロワン地域』は復活してくると思われる」と述べられ、これから弁護士となる河井さんや、弁護士過疎地赴任を控える元奨学生の皆さんへ大きな期待を寄せられました。

ひまわり基金法律事務所への赴任を経験し、帰還した元奨学生（杉原弁護士【岡山県真庭市】、原弁護士【三重県熊野市】）は、「就職難の時代には『ひまわり』が人気で、北海道や九州など遠方の事務所を幾つ



も、「任地では大変なこともたくさんあったが、本当に楽しかった！」と口々に振り返りました。

原弁護士は、「赴任先の人々が温かかったとか、土地が魅力的だったとか、楽しかった理由はたくさんあるが、今考えると、『自分が一番やりたかったことを実際にやっている』達成感が何よりも大きかった。この先、結婚や出産を経験したりして、

